

2022.4.29

子供緑の教室・樹木探偵団

福岡県緑化センターで開催されたグリーンフェスティバルで子ども達に「樹木探偵団」で楽しんでもらいました。

「樹木探偵団」は、まずスタート会場に置かれている番号が付いた11種の樹木の葉をスケッチし、そのスケッチを持って屋外の樹木見本園に出かけ、自分がスケッチした葉っぱと同じ樹木を探し出し、樹木にかけられた名札を確認して名前を当てるというゲームです。用意した樹木はサザンカ、ナンテン、ウバメガシ、ナギ、トチノキ、カシワ、ムクロジ、サクラ、ハシバミ、ソテツ、ヒノキの11種で、年齢に応じ4～6種の葉っぱを選んでスケッチします。

子ども達にはやや地味な遊びかとも思いましたが、未就学や低学年の子はパパ、ママと一緒に絵かきを楽しみ、高学年の子ども達は全問正解を目指したいと張り切ってスケッチし、午前中の雨の中でも傘をさして見本園を元気に歩き回って樹木を探していました。

スタッフはスケッチの際の葉っぱの特徴の見方のヒントなどを伝え、一組ごとに樹木見本園を案内し樹木の特徴や名前の由来などの説明を行います。



どの葉っぱを描こうかな？

朝からの悪天にもかかわらず最終的な参加者数は子ども39名、大人34名、計73名となり、担当のスタッフ4名でなんとか全員を案内できましたが、参加者が立て込んで見本園での樹木の説明が十分にできなかったり、樹木に興味を示してくれた子ども達に時間をかけて観察させてあげられない時間帯があったことは少し残念でした。

葉っぱの特徴をおのおのの感性で描いたスケッチを見ると、子ども達それぞれの個性を感じられ、見本園で正解の樹木を見つけた時の子ども達の目の輝きは本当に印象的でした。

みんなしっかりと樹木や自然に向き合ってくれたのではないかと感じました。

この経験が少しでも参加者の記憶に残って、この先自然への興味につながってくれるといいなと思います。

スタッフ 手嶋、宮本、丸山、千田（報告：千田）